

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和3年 5月

事業所名 きっずサポートなになわ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか		○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	○			・知的障害、発達障害の 児童の利用が主である ため、設備等のバリアフ リー化は最低限となっ ている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい るか	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげているか	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか			○		
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	○			・心理学を専門とする大 学の先生にコンサルテ ーションを月2回実施してい る。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している か	○				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標 準化されたアセスメントツールを使用してい るか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている か		○		・1対1の個別活動が中心 であるが、集団活動を行 う場合は、チームでプロ グラムの立案を必ず行っ ている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	○				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか			○	・平日、休日とも同様の 療育内容となっている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成しているか			○	・1対1の個別活動を中心 に行っているため、集団 活動の時間はほとんどな い。	

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・1対1の個別活動が中心であるが、集団活動を行う場合は、必ず役割分担等の確認を行っている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・1対1の個別活動を中心に行っているが、集団活動を行う場合は、必ず行っている。		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○					
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○					
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○					
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		・送迎対応を行っていないため、定期的に学校と左記のような情報共有を図る機会はない。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	-	-		・医療的ケア児の利用者がいない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				・これまでの個別支援計画書やアセスメントシート等を作成し、保護者に渡している。また、進路先の事業所に直接引き継ぎを行っていることもある。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		・連携はしているが、助言や研修を受ける機会は少ない。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				・柏原市自立支援協議会子ども部会に毎回メンバーの一員として出席している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○					
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○					
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○					

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・毎回の療育時や電話、メールで相談に応じている。 ・個別支援計画書に【家庭連携】の項目を設けて、具体的に家庭で取り組むことを保護者と共有している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			家族懇談会の実施。(去年度はコロナのため中止)	
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・法人の会報を年4回発行している。また、フェイスブックで事業所の様子を発信している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				・地域住民に向けた公開講座を行っている。(去年度はコロナのため中止)
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				・緊急時対応マニュアル等は整備し、スタッフへは周知している。	
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				・年2回避難訓練を実施している。	
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○					
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				○	・基本、保護者同伴の利用であり、身体拘束をずる機会はない。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	-	-	-		・食事提供の機会がない。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか				○	・事故等の防止のために情報共有や環境整備は適宜行っている。	

○この「放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った評価です。